



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	〈仮称〉ダルトン袖木社屋 新築工事	BEE	1	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価			
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	2.5	/5		がんばろう		
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.3	/5		ふつう		
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	2.9	/5		がんばろう		
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.3	/5		がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

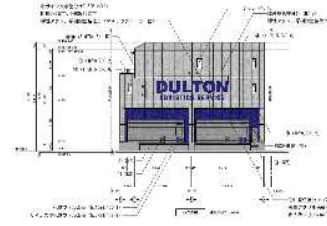
3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)		得点	2.5
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③ glare対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ④ALCパネルは最長50年耐用、角波サイディングは、20年耐用。 ④給水・給湯・冷媒管にC以上の配管材料を使用。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑦市のみどり条例・景観条例に従い、周囲の環境・景観に配慮した外構計画および外装計画とした。 ⑥空地率48.6%分の空地を確保し、それを風の通り道とする。 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ※省エネ法適用除外建築物につき評価対象外 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪手洗いは泡沫水栓、便器は節水型便器を採用。 ⑫床材・コンポジットビニル床タイルがエコマーク商品である。 ⑬断熱材はODP=0、GWP=3以下に収まっている。 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔 Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上		
	<ul style="list-style-type: none"> ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ※省エネ法適用除外建築物につき評価対象外 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪手洗いは泡沫水栓、便器は節水型便器を採用。 ⑫床材・コンポジットビニル床タイルがエコマーク商品である。 ⑬断熱材はODP=0、GWP=3以下に収まっている。 	LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制	
	<ul style="list-style-type: none"> ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪手洗いは泡沫水栓、便器は節水型便器を採用。 ⑫床材・コンポジットビニル床タイルがエコマーク商品である。 ⑬断熱材はODP=0、GWP=3以下に収まっている。 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑮狭小敷地ながら、隣棟間隔指数0.2を確保。 	LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 2 2.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 2.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒 LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善	
	<ul style="list-style-type: none"> ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑮狭小敷地ながら、隣棟間隔指数0.2を確保。 		
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)		得点	3.3
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑰機械・配管支持方法において、耐震クラスIになるような仕様とした。 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備		
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑱倉庫(工場系統)において、階高平均4.05mになるよう設計し、階高にゆとりを持たせた。 ⑲2階の壁長さ比率を0.17とし、空間の自由が利きやすいようにした。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) <ul style="list-style-type: none"> ⑲1視界を遮らないような植栽の配置計画を施した。 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり 3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ Q-3 3 3.1 ⑲ 地域性への配慮、快適性の向上	
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)		得点	2.3
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑥景観条例に従い、周辺地域と調和した配置・外装の計画とした。 ⑥空地率48.6%分の空地を確保し、それを風の通り道とする。 ■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑮狭小敷地ながら、隣棟間隔指数0.2を確保。 	Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 2 ⑥ まちなみ・景観への配慮 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 LR-2 2 2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 LR-3 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善		
	<ul style="list-style-type: none"> ■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑮狭小敷地ながら、隣棟間隔指数0.2を確保。 		

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ダルトン 柚木社屋 新築工事	階数	地上3F
建設地	静岡県静岡市葵区柚木字西五反田	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	48人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,340時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2023年8月24日
敷地面積	1,532㎡	作成者	相模 明
建築面積	798㎡	確認日	
延床面積	2,241㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合 これは、CASBEE静岡(2021 SDGsなし)による評価である。		その他 (株)ダルトンは、ファッション、インテリア雑貨等の輸入・卸売業務全般を行っています。
Q1 室内環境 ・事務所の昼光率は2.425。十分な採光がとれている。	Q2 サービス性能 ・機械・配管支持方法において、耐震クラスS1になるような仕様とした。 ・壁長さ比率0.17をマークし、空間にゆとりを持たせた。	Q3 室外環境(敷地内) ・市のみどり条例・景観条例に従い、周囲の環境・景観に配慮した外構計画および外装計画とした。
LR1 エネルギー ※倉庫単用途かつ、人のための空調のみ存在するため、省エネ適判の適用除外の建築物となり、対象外。	LR2 資源・マテリアル ・泡沫水栓の手洗い及び節水型便器を採用。 ・ODP=0かつGWPが低い断熱材(クワフォーム:ODP=0,GWP=1、ポリスチレン(スタイロ)フォーム ODP=0,GWP=3)を使用。	LR3 敷地外環境 ・光害の抑制において、光害対策が「ドライのフェグリスト」の5項目を満たし、屋外広告物照明を行っていない

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される